

～図書館職員が選ぶ～



今月のピカッと光る一冊



『となりのウチナンチュ』

早見慎司 著/KADOKAWA【B913-ハ】

『ウチナンチュ』とは、沖縄のことばで『もともとの沖縄人』のこと。
沖縄が舞台のこのお話は、小説家志望の父とアパートで暮らす彩華と、隣の部屋に東京から越してきた同い年の夏海の二人が主人公です。夏海が沖縄へ引っ越してくる前日、彩華が置物の蛙・青蛙神（せいあしん。三本足の蛙の神様）の声が聞こえるようになったことを発端に、様々な不思議なことが起こります。

偶然出会ったにも関わらず意気投合した二人は、協力して様々な苦難を乗り越えます。しつこく現れる夏海の母の生霊、沖縄を襲う猛烈な台風、ファンキーなおしいちゃんなど、様々な怪奇現象を体験するたびに、少しずつ前向きになれるお話です。

推薦者 加羽澤



貸出ランキング～11月・12月～



貸出回数	書名	著者名	出版社
6回	ぐりとぐら	中川 李枝子 文	福音館書店
3回	つられたらたべちゃうぞおばけ	乾 栄里子 さく	童心社
3回	ずーっとずっとだいすきだよ	ハンス・ウィルヘルム えとぶん	評論社
3回	ばすくんのくりすます	みゆき りか 作	小学館
3回	うそだあ!	サトシン 作	文溪堂
3回	3びきのこぶた	いもと ようこ 文・絵	金の星社

※貸出回数3回のもものが複数冊あったため、その中から司書がピックアップしました。

●編集後記●



2017年もあっという間に過ぎていき、今月でいよいよ授業も終わりです。春休みの長期貸出は期間がとても長いので、借りていることを忘れないよう注意しましょう。卒業予定の学生さんは、必ず返却してから卒業してください。卒業後は館内での閲覧や資料の複写が可能です。

さて、今回の図書館だよりはいかがでしたか？図書館だよりの作成を初めて担当致しました、加羽澤です。私にとって初の試みなので大変緊張しながらの作成でしたが、これからも頑張っていきますので、どうぞよろしくお願ひ致します。

次号の『図書館だより』は2018年4月に発行予定です。担当 加羽澤